

## 漁船改造許可

船の長さ10メートル以上の動力漁船を改造しようとする者や船の長さ10メートル以上の一般船舶を動力漁船に改造しようとする者は、漁船法に基づいて青森県知事又は農林水産大臣の許可を受けなければならないことになっています。

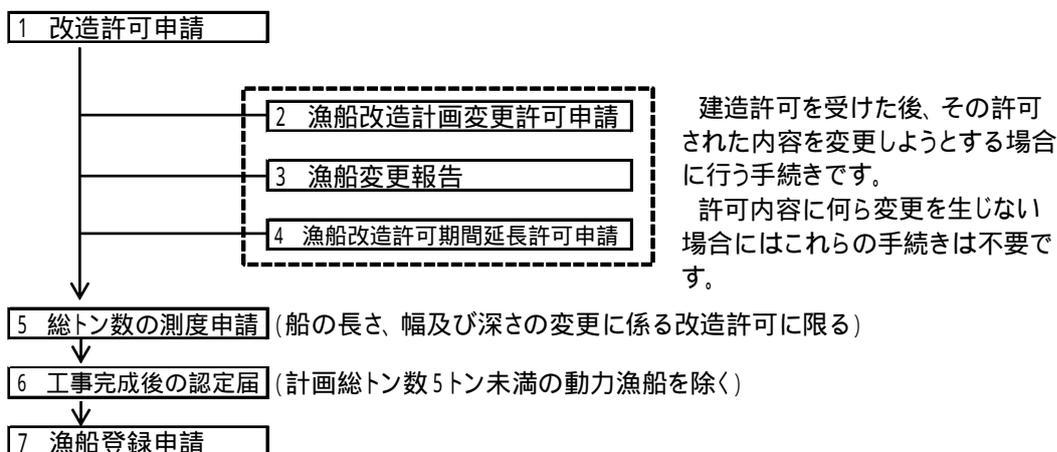
(船の長さ10メートル未満の漁船を改造する場合 新規登録又は変更登録)  
 (船の長さ10メートル未満の一般船舶を動力漁船に改造する場合 新規登録)

申請は以下の手順で行います。

### 改造の定義

- 1 「改造」とは、船の長さ、幅若しくは深さを変更し、推進機関を新たに据え付け、若しくはその種類若しくはその出力を変更し、又は従事する漁業の種類を変更するために船舶の構造・設備に変更を加えることをいいます。  
 但し、推進機関の種類、馬力数を変更しないで推進機関を変更することは改造ではありません。
- 2 船の長さについて、改造前が10メートル未満で、改造後に10メートル以上となる場合も改造許可を要します

### 改造許可から漁船登録までの申請の手順



### (1) 申請手続き

#### ア 申請先

改造しようとする漁船の内容	申請先
(ア)漁業法、水産資源保護法等に基づき青森県知事の許可その他の処分を要する漁業に従事する動力漁船((イ)を除く。)	青森県知事
(イ)漁業法、水産資源保護法等に基づき農林水産大臣の許可その他の処分を要する漁業に従事する動力漁船	農林水産大臣 (水産庁管理課漁船管理班)
(ウ)上記(ア)(イ)に掲げる以外の動力漁船で総トン数20トン未満のもの	青森県知事
(エ)上記(ア)(イ)に掲げる以外の動力漁船で総トン数20トン以上のもの	農林水産大臣 (水産庁管理課漁船管理班)

農林水産大臣が申請先となる場合の申請手続きについては、水産庁管理課漁船管理班へ照会ください。

イ 申請書 NO.2

ウ 手数料 不要

エ 添付書類 別表(B)

オ 提出部数(申請書及び添付書類) 各1部

カ 申請等経路



提出された申請書は県又は国で内容が審査され、適正であれば「改造許可指令書」が交付されます。申請者はその許可の日から6ヶ月以内に改造工事をしゅん工させなければなりません。

## (2) 改造許可の失効と取消

### ア 許可の失効

改造許可を受けた後、以下の事由に該当する場合には、当該改造許可は効力を失うこととなります。

(ア)改造許可の日から6ヶ月以内(改造許可期間)に改造工事がしゅん工しないとき。

(イ)漁業法、水産資源保護法等に基づき青森県知事又は農林水産大臣の許可その他の処分を要する漁業に従事する場合において、その漁業につき起業の認可が失効し、若しくは取り消され、又は許可その他の処分が取り消されたとき。

但し、(ア)に関し、漁船改造許可期間延長許可申請を行うことによって改造許可期間を延長できる場合があります。

### イ 許可の取消

改造許可を受けた後、次の(ア)~(キ)に掲げる事項のいずれかを変更しようとするときは、その変更につき、改造許可をした行政庁の計画変更許可(漁船改造計画変更許可申請)を受けなければなりません。もし、計画変更許可を受けずに変更した場合には、当該改造許可が取り消されることがあります。

(ア)漁業種類又は用途

(イ)操業区域及び主たる根拠地

(ウ)計画総トン数

(エ)船舶の長さ、幅及び深さ

(オ)船質

(カ)改造を行う造船所の名称及び所在地

(キ)推進機関の種類及び馬力数並びにシリンダの数及び直径

## (3) 改造許可申請書記入要領(要点)

### ア 申請者の氏名又は名称

申請者は、個人又は法人とすること。任意団体では申請できない。

申請者が複数の場合には、申請書には 外何名と記載し、別紙に全員連名捺印のうえ、代表者を明らかにすること。

### イ 「1 改造計画」の表

表中、「改造前」欄には、申請時点での漁船登録内容を全ての項目について記入し、「改造後」欄には、変更となる項目のみ記入すること。

### ウ 船名

国字をもって定めること(ローマ字、外字は不可)。許可申請時までには船名を決定しないときは「未定丸」で申請すること。但し、この場合であってもしゅん工時までには決定し、漁船変更報告を行うこと。

### エ 漁業種類又は用途

漁業種類は「漁業種類の分類表」中「B登録の分類」により記入すること。なお、県又は国から別に指示を受けた場合にはこの限りでない。

また、漁業種類の記入にあたっては、最高3種類程度とすること。

### オ 操業区域

許可承認等漁業従事船にあつては「指定された区域」、その他の船にあつては「沿岸」とすること。

### カ 主たる根拠地

漁船の操業又は運航の本拠とする港が所在する市町村名を記入すること。20トン以上漁船の場合、船舶法上の船籍港と異なってもよい。

### キ 船舶の長さ、幅及び深さ

登録寸法を記入する。測度寸法ではない。

### ク 推進機関の種類、馬力数並びにシリンダの数及び直径

種類は「ジーゼル」、「電気点火」の別を、馬力数は「キロワット又はkw」単位を付して(平成14年3月31日以前に漁船に登載されたことのある中古機関にあつては既に算出されている馬力数を単位を付しないで)記載すること。

### ケ 船質

鋼、木、FRP、軽合金の種類を明らかにすること。

### コ 改造を行う造船所の名称及び所在地

当該漁船の改造工を行う造船所の名称及び所在地を記入すること。但し、軽微な改造で申請者が自ら改造工を行う場合には「自己改造」と記入すること。

### サ 推進機関の製作所の名称及び所在地

- 推進機関を製作した会社の本社名及びその所在地を記入すること。販売店名ではない。
- シ 改造工事の着手及び完成の予定期日  
着手年月日は、申請の日から1週間程度余裕を見ること。
- ス 改造に要する費用及びその調達方法の概要  
船体からその他までの合計金額は自己資金と借入金の合計金額と同一となること。

## 2. 漁船改造計画変更許可申請

・漁船の改造許可を受けた者は、次の(1)～(7)に掲げる事項のいずれかを変更しようとするときは、その変更につき、改造許可をした行政庁の計画変更の許可を受けなければなりません。

- (1)漁業種類又は用途
- (2)操業区域及び主たる根拠地
- (3)計画総トン数
- (4)船舶の長さ、幅及び深さ
- (5)船質
- (6)改造を行う造船所の名称及び所在地
- (7)推進機関の種類及び馬力数並びにシリンダの数及び直径

・申請手続きは、以下の申請書と添付書類で行います。

- |      |           |
|------|-----------|
| 申請書  | NO.15     |
| 手数料  | 不要        |
| 添付書類 | 別表(D)     |
| 提出部数 | 各1部       |
| 申請経路 | 改造許可申請と同じ |

## 3. 漁船変更報告

・漁船の改造許可を受けた者は、次の(1)～(5)に掲げる事項のいずれかに変更を生じたときは、遅滞なくその旨を改造許可をした行政庁に報告しなければなりません。

- (1)申請者の氏名又は名称及び住所
- (2)船名
- (3)推進機関の製作所の名称及び所在地
- (4)起工、進水及びしゅん工の予定期日
- (5)改造に要する費用及びその調達方法の概要

・報告手続きは、以下の報告書と添付書類で行います。

- |      |           |
|------|-----------|
| 報告書  | NO.18     |
| 添付書類 | 所属漁協の副申書  |
| 提出部数 | 1部        |
| 申請経路 | 改造許可申請と同じ |

### (注意事項)

売買などにより申請者自体が変更される場合は当該変更報告の範疇とはならず、新申請者が新たに改造許可申請をしなければなりません。

## 4. 漁船改造許可期間延長許可申請

・漁船の改造許可を受けた者は、改造許可期間内に当該改造工事をしゅん工することができないやむを得ない事由があるときには、改造許可をした行政庁へ許可期間延長の申請をすることができます。(但し、当該申請の時点で工事未着工である場合には、改めて改造許可の申請をする必要があります。)

・申請手続きは、以下の申請書と添付書類で行います。

- |      |                |
|------|----------------|
| 申請書  | NO.16          |
| 手数料  | 不要             |
| 添付書類 | NO.17と所属漁協の副申書 |
| 提出部数 | 各1部            |
| 申請経路 | 改造許可申請と同じ      |

## 5. 総トン数の測度申請

(船の長さ、幅及び深さの変更に係る改造許可の場合に限る。)

・漁船所有者は、船の寸法や総トン数を変更した場合には、当該漁船の総トン数を明らかにするため、都道府県知事が行う「総トン数の測度」を受けなければならないことになっています。

・漁船の改造許可を受けた者は、改造した漁船について、工事完成後の認定前に総トン数測度を完了しておく必要があります。

総トン数の測度

## 6. 工事完成後の認定届

(計画総トン数5トン未満の動力漁船を除く)

・漁船の改造許可を受けた者は、改造許可を受けた船舶の改造工事がしゅん工したときは、改造許可を受けた行政庁の「認定」を受けなければなりません。

・漁船の改造工事は、認定を希望する日までにしゅん工(漁船の外郭の完成はもちろん、漁る

う設備、魚探、無線等全ての装備が完備され、出航状態と同様の状態)させておく必要があります。

・認定は、改造許可をした行政庁の職員が直接漁船に出向いて行い、改造許可の内容と相違なくしゅん工していると認められるときは、「漁船認定通知書」を交付します。

・認定手続きは、以下の届出書と添付書類で、認定を希望する日の3週間前までに提出して行います。

届出書	NO.19
手数料	不要
添付書類 (証明書)	なし(青森県外において総トン数測度を受けている場合にあっては、総トン数)
提出部数	1部
申請経路	改造許可申請に同じ

## 7. 漁船登録申請

・改造許可指令書(場合によっては「計画変更許可書」あるいは「許可期間延長許可書」も併せて)及び漁船認定通知書を用意したうえで、**新規登録申請**又は**変更登録申請**を行います。